

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2274 号

An association between subcutaneous fat mass accumulation and Hypertension

皮下脂肪蓄積と生活習慣病の関連

後藤 研人 (ごとう けんと)

博士 (医学)

#### 論文審査結果の要旨

本論文は、高血圧の有病率と SFA の四分位との間に有意な相関があることが明らかになった。日本では若年から中年層で肥満を伴う高血圧患者が増加しており、このタイプの高血圧の患者は、メタボリックシンドロームに移行しやすいとされている。メタボリックシンドロームの診断基準には内臓脂肪の過剰蓄積が必須とされているが、皮下脂肪の蓄積については危険因子とはされていない。BMI、WC、VFA、血圧関連変数、脂質関連変数はすべて男女ともに SFA と正の相関を示した。そこで本研究は腹部皮下脂肪面積をコンピューター断層撮影を用いて実測することで、高血圧と皮下脂肪面積の関連を検討した。2016 年 12 月から 2018 年 12 月の期間に、順天堂大学医学部附属順天堂醫院の人間ドックを受診した 1899 名のデータを解析したところ、男女ともに本研究では皮下脂肪面積と高血圧の関連を認め、男性の平均年齢と腹部皮下脂肪面積の平均値は 60.9 歳、123cm<sup>2</sup>、高血圧に対する皮下脂肪面積のカットオフ値は 114.7cm<sup>2</sup>、女性の平均年齢と腹部皮下脂肪面積の平均値は 60.6 歳、146.6cm<sup>2</sup> でカットオフ値は 169.3cm<sup>2</sup> と算出された。これまで日本人の皮下脂肪と生活習慣病との関連を調べた研究は数件しかなく、本研究は新しい知見を提供するものである臨床的に意義ある論文である。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。